

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら UN工房

保護者等数(児童数) 37

回収数 17

割合 46 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	0	0	3		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	6		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	0	0	8		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	2	0	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	0	0	0	・先生方のアイデアに感心しきりです。 ・色々な事をやってもらえて楽しんでいます。	・ありがとうございます。今後も色々な経験を積んでいただけるように、みんなが楽しいプログラムをモットーに頑張ります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	3	11	・特に休日のプログラムで、兄弟や友達を誘って参加出来ればいいのと思いました。 ・交流されてたらすみません。	・なかなか交流の機会が作れずに申し訳ございません。今後はご家族様やお友だちも一緒に参加して頂ける催し物の開催も検討いたします。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	3	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	4	9		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2	0	5		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	2	0	1	・毎月のお便り、いいですね。 ・ラインでお返事くださる時誰が返信してくれたのかわからないのでお名前があると助かります。	・お便りお褒め頂きありがとうございます。嬉しいです。 ・ご指摘いただきありがとうございます。今後は対応した職員の名前を記載させて頂きます。
14 個人情報に十分注意しているか	13	1	0	3			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4	1	5		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1	1	6		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17	0	0	0	・いつも楽しみにしています。	・ありがとうございます。職員も楽しみにしています。
	18 事業所の支援に満足しているか	15	1	0	1	・しっかり対応していただいて感謝しています。	・ありがとうございます。今後もしっかりと対応出来るように努めてまいります。

216 22 9 59

71%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら UN工房

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		
	2 職員の配置数は適切である	4	3		・送迎ドライバーがキツキツの時がある為、早急に求人してもらいます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6		・建物が一般的な一軒家で借家の為、なかなかバリアフリー化が難しいのですが、今後は小さな所からでも出来る範囲でバリアフリー化出来るように努めます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	・本部のホームページで公開してもらっています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	・全ての研修に参加は難しいですが、職員からの申し出があれば参加してもらっています。	・今後は内部検討の回数を増やして、外部研修の案内をこちらから職員に伝え参加を促していきます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・お子様本人の意思や意向をしっかり計画に反映させるのが課題です。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	・前もって試作したり、プログラムの流れを擦り合わせたり、と当たり前の事をひとつひとつ行って、その日のプログラムがスムーズに行くように心がけている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	3		・ガイドラインの読み合わせを定期的に行う。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	・保護者様からも情報をいただいている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7		・現時点では医療的ケアが必要なご利用者様がおられないですが、今後、受け入れの際には連絡体制を整えます。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5		・今後は情報共有に努めたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	5		・今後は情報を提供できるように努めます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		・今後の課題です。一緒に出来ることが無いかをこちらから発信出来るように努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5		・今後は何とか時間を作り積極的に参加していきたいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		・今後はご家族様やお友だちも一緒に参加して頂ける催し物の開催も検討いたします。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		・保護者様に向けて毎月会報誌を送付しています。
	35	個人情報に十分注意している	7	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2		・子どもレストランやマルシェに参加しています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4		・職員には周知出来ていますが、保護者様への周知がしっかりと出来ていないので、今後は面談時や毎月の会報誌送付時に添付する等により周知出来ればと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		・毎年4月1日、9月1日はプログラムを避難訓練に固定してご利用者様と職員が一緒になって訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		